

岡崎公園

中川 涼

(2019 年度入学 鈴木ゼミ 3 期生)

今回、お話しする私の好きな京都は岡崎公園だ。東山及び比叡山を背景とし、東には南禅寺、永観堂がある。また、平安京の大極殿を模した平安神宮を北に配し、東側には動物園がある極めて環境に恵まれた公園だ。京都を代表する公園で休日には多くの人々で賑わうこの公園をこれから紹介していく。

岡崎公園は、京都市左京区岡崎最勝寺町にある都市公園である。そんな岡崎公園の歴史を見るためにはまず、岡崎の歴史を探る必要がある。岡崎は平安時代に法勝寺や尊勝寺など六勝寺と総称される六か寺の大寺が建立された地である。その名は現在でも各寺の故地に町名となって残されている。しかし、平安時代に壮麗を極めた往時の六勝寺の伽藍もその後の戦乱や東京遷都により、失われてしまい、幕末維新の頃には、岡崎には人家も疎かで、空き地が広がっていた。その殖産興業策の一つとして明治時代、東側に隣接する蹴上の地域に、琵琶湖疎水が引かれ、日本初の水力発電所が建設された。インクラインを利用した水運も発達すると岡崎の地を琵琶湖疎水の本流が西流するようになり、岡崎は京都の近代化の礎を築いた。

この工業都市としての発展や京都の圧倒的な文化度を内外にアピールする一大事業として、政府主催の内国勸業博覧会と、平安遷都1100年記念祭が1895年（明治28年）に同時開催された。記念祭の象徴として平安神宮が博覧会場に創建され、各種のパビリオンが設けられたほか、奉祝の行事として京都三大祭の一つである時代祭が実施された。そして、その他文化施設も建設され、1904年（明治37年）には博覧会場跡地に岡崎公園が開設された。



岡崎公園はさらにその後も京都府立図書館、京都国立近代美術館、ロームシアター京都、岡崎・市電コンシェルジュなどの文化施設が建てられ、徐々に文化ゾーンを形成していった。また、文化施設だけでなく、岡崎グラウンドという運動場もあり、野球やテニスなどを楽しむこともできる。

このように、明治時代から京都の近代化を支えてきた岡崎公園。そんな岡崎公園を私の好きな京都として選んだ理由は、やはり魅力的な施設の多さにある。公園の正面入り口、大鳥居をくぐって奥に進むと人気観光名所である平安神宮がある。古くからの都を表すような神社があると思えば、公園入り口側にはロームシアター京都や京都市勸業館みやこめっせなど近代的施設も建っているのだ。みやこめっせの中には京都伝統産業ミュージアムショップという京都の伝統品をお土産として買うことのできるお店もある。これだけでも十分魅力的だが、さらに私が魅力的だと感じたのが公園の中にこれだけジ

ジャンルが違う施設があるにもかかわらず、全く違和感がないことだ。一つの公園の中にお洒落なカフェや美術館、そして神社が一緒にあるのはこれまで考えられなかった。大抵、現代の物と昔の物を組み合わせるとどちらかの雰囲気は崩れる、あるいは両方の雰囲気が崩れてしまう。しかし、岡崎公園は両者がお互いに雰囲気を崩すことなく、うまく調和している。そんなあらゆる時代が組み合わせられた美しさに魅力を感じている。



これだけ多くの施設があることによって年齢・性別を問わずに多くの人を訪れることもできる。また、先ほども述べたが、平安神宮など観光スポットもあるため京都府以外からも多くの人を訪れている。家族連れであれば公園内の京都市動物園で遊んだ帰りに同じく園内にあるスターバックスコーヒーで休憩をするというのもあるだろう。また、高齢者の方であればロームシアター京都でコンサートを鑑賞したり、京都国立近代美術館で作品鑑賞をするなど音楽・芸術を楽しむことができる。京都市勧業館みやこめっせでは就活イベントも頻繁に行われており、私も何度か足を運んだことがある。

さらに岡崎公園では施設だけでなく、学生団体が主催しているフェスやフリーマーケットなど各種イベントが豊富に行われている。これらのイベントも基本入場料無料で体験型のものもあるため子供から大人まで気軽に楽しめるものとなっている。



ここまで岡崎公園の歴史と魅力について見てきたが、私自身調べていくうちに知らなかったこと、新たに知ったことが多くあった。例えば、岡崎公園が京都の近代化の礎を築いた博覧会の跡地に開設されたとは思ってもいなかった。また、現在は栄えている岡崎も以前は廃れていた時期があり、その裏には琵琶湖疎水の水運や日本初の水力発電所など当時の人々の復興に対する強い想いがあった。現在は、コロナウイルスにより、できるイベントや催しは限られているだろう。しかし、コロナウイルスが収束すればもっと多くのイベントが開催され、さらに多くの人、モノと交流することができる場になるだろう。現代と昔が組み合わせられた岡崎公園では自然と近代美術が織りなす独特な雰囲気を感じることができる。観光としてレジャーとして、そして憩いの場としても楽しむことができるこの公園に皆さんも是非一度訪れてみてはいかがだろうか。

参考文献

- ・ 岡崎公園-ウィキペディア

([https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B2%A1%E5%B4%8E%E5%85%AC%E5%9C%92_\(%E4%BA%AC%E9%83%BD%E5%B8%82\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B2%A1%E5%B4%8E%E5%85%AC%E5%9C%92_(%E4%BA%AC%E9%83%BD%E5%B8%82)))

- ・ 京都岡崎観光コンシェルジュ

(<https://kyoto-okazaki.jp/about/history/>)

- ・ 岡崎公園-京都市情報館

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000082743.html>)